



# 一般財団法人ふくしま市町村支援機構 職場案内(2024年版) 令和6年5月10日改定



主な業務  
発注者支援  
市町村職員研修  
建設材料試験  
ふくしま中町会館管理

## はじめに

一般財団法人ふくしま市町村支援機構は、福島県と市町村の出捐により設立された県の外郭団体で、非営利型の一般財団法人です。県や市町村の公共事業の執行を支援する発注者支援事業と、公共事業に関する市町村からの相談や市町村職員の研修等を行う公益事業を中心に、幅広く自治体を支援しております。東日本大震災発生後は、公共事業の発注者支援等を通じ、職員一丸となって福島県の復興を支援してまいりました。

こうした中、近年は気象災害を始めとする自然災害が頻発、激甚化しており、県や市町村においては、災害復旧や減災・防災・国土強靱化への対応、さらにはインフラの長寿命化対策等が大きな課題となってきました。今後とも支援機構の果たす役割は、ますます重要になっていくものと考えられます。

これからも信頼される組織を目指し、日々努力を続けながら、自治体が行う社会資本の整備を「技術」と「経験」でサポートしてまいります。

## 1 支援機構の仕事

支援機構は、良質な社会資本の整備と地域社会の健全な発展のため、市町村等が行う建設事業や、安心安全な住環境の形成等を支援し、地域社会の発展に貢献することを目指しています。

発注者支援事業では、県や市町村からの受託により、土木・水道・建築・設備の公共事業に関する調査・設計・積算（工事費の算出）・工事管理業務等を行っています。

公益事業では、市町村の建設行政に携わる職員の相談に応じる建設相談事業を始め、市町村職員の短期・長期研修事業及び県内唯一の建設材料の公的試験機関として各種試験を行っています。



設計・積算業務



工事管理業務



研修事業



建設材料試験

大変多くの市町村から厚い信頼をいただいております。積算技術、特に橋梁やトンネルなどの特殊構造物の積算については、県から非常に高い評価を得ています。支援機構では、「市町村にとってかけがえのない存在であり続ける」を長期ビジョンとして掲げ、その実現に取り組んでいます。

## 2 仕事の魅力とは

### ◇ 高い技術力

支援機構では公共事業の積算に関して大変多くの実績があり、高い技術力を支えている基盤となっています。また、仕事に関連する資格を取得するための支援制度が充実しており、大変多くの有資格者を有しております。

こうした環境の中で働くことで、将来高い技術力を備えた技術者として成長していくことが期待できます。



### ◇ 長期安定性

市町村や県が公共事業や公共施設の整備を行う上で、設計・積算業務や工事管理業務は不可欠なものであり、こうした分野で高い技術力を持ち、県から公共事業発注機関向け積算システムの使用が認められている機構の仕事は、長期的に安定性が高い仕事と考えられます。

### ◇ 充実した給与制度と福利厚生

独自の給与体系と各種手当を備えており、賞与は業績に応じて支給されます。また、5日間の夏季休暇を始め、各種休暇制度や健康診断などの福利厚生も充実しています。

執務室は広いスペースを有しており、職員一人一人がゆとりのある環境の中で、快適に仕事に取り組むことができます。



左 執務室 上 談話室

## 心強い先輩方とやりがいのある仕事ができる



### 野崎技師（令和4年度採用）

土木職

- 配属先 土木技術部 土木技術課
- 現在の担当業務 積算業務

支援機構の業務は、生活の利便性の向上に寄与するものであり、人から感謝される仕事であるところにやりがいを感じたため入社しました。

先輩職員は技術力が高く、分からないことは聞けば教えていただけるので心強いです。また、志が高い方も多く、様々な資格を持っている方が沢山います。

福利厚生として、研修の旅費を負担してもらえるので、活用して1級土木施工管理技士の取得を目指していきたいと思っています。



## 多様な業務から豊富な経験と知識を得られる

### 岡崎技師（令和4年度採用）

建築職

- 配属先 建築設備部 建築課
- 現在の担当業務 設計、積算、工事監理業務

大学で学んだ建築の分野で、設計から工事監理まで様々な経験を積むことができると考え就職しました。

想像以上に覚えることが多く、まだまだ分からないことばかりで不安もありますが、先輩方が一つ一つ丁寧に教えてくれるため、少しずつできることが増えてきています。

自分なりに工夫して作業できたり、前回に比べ効率よくできたりすると自分の成長を感じることができます。

多種多様な業務があるため、覚えるべきことがたくさんあり大変ですが、その分達成感や身につくものは多く、豊富な経験と知識を得ることができます。ぜひ、会社見学やインターンシップなどに参加してみてください。



# 先輩職員へのインタビュー

## 地元福島のために働きたい



### 佐藤技師（令和4年度採用）

土木職

- 配属先 土木技術部 土木技術課
- 現在の担当業務 工事管理業務

東日本大震災、台風19号による水害を経験し、改めてインフラの大切さを実感しました。また、地元福島県で福島のために働きたいと思っていたので、支援機構を選択しました。

担当している工事管理業務は、朝から一日現場に行くこともありますが、休みはしっかり取れ、手当なども充実しています。

県内はどこでも行くので、福島県に詳しくなれます。「地元で働きたい」「福島のために働きたい」と考えているなら、ぜひ支援機構への就職をお勧めします。一緒に福島を元気にしていきましょう!



## 分からないことは先輩方が優しく丁寧に教えてくれる

### 伊藤技師（令和4年度採用）

設備職

- 配属先 建築設備部 設備課
- 現在の担当業務 設計、積算、工事監理業務

会社見学の際、職員の方々に丁寧に対応していただき、人柄に魅力を感じ、支援機構に入社しました。

大学で学んだ分野と違う業務に、最初は分からないことだらけで不安でしたが、先輩方は私が一人でいると話しかけてくれて、不安に対する相談にも乗ってもらえたことで、徐々に職場や仕事に慣れることができました。

先輩方が理解できるまで優しく丁寧に教えてくれたおかげで、今は様々な業務に携わることができています。



### 3 求められる職員像

支援機構では、常に県や市町村の信頼に応える組織であり続けたいと考えています。職員一人一人が信頼される職員、信頼に応えられる職員であることが、組織としての信頼を高めていくことにつながります。そのため、次のような職員像が求められています。

- 自分で考え、行動できる人
- 常に知識や技術を高めようとする向上心のある人
- コンプライアンスへの意識が高く、誠実な人
- 周囲とうまくやっけていける協調性のある人



#### 採用担当役員からのメッセージ

伊藤専務理事

##### ■ リーダーになってほしい

仕事には一定のスキルが必要です。しかし、仕事に真面目に取り組んでいれば、スキル面でそれほど大きな差が出るとは思えません。大きな差がつくのは、「人間性」というか「人間力」といったものではないでしょうか。「人に対していつも心を開き受け入れられる人」「自分に謙虚な人」。そのような人こそ、周りの人を惹きつけ、組織をまとめ上げることのできる「リーダー」ではないかと思います。若い皆さんには、技術やスキルとともに、「人間力」を磨いて、将来職場のリーダーになって欲しいと思います。

##### ■ 資格取得は自己実現の目標

大学を卒業したからといって勉強は終わりではありません。プロ野球選手でもドラフト1位で入団してからの努力はそれまで以上で、引退するまで続けます。皆さんも退職するまで勉強し続けることを心掛けてください。資格取得という「自分の目標」へのサポートを支援機構が全力で行います。

### 4 待遇・各種制度

- 勤務時間 月～金曜日の午前8時30分から午後5時30分まで、完全週休2日制
- 初任給 大卒（技術職） 207,200円 ※令和6年5月10日改定の基準 大学院卒（技術職） 218,400円
- 手当等 扶養、住居、通勤、超過勤務、災害応急作業、資格手当
- 賞与 基本賞与は6月及び12月、また、年間の経営収支状況を判断して、業績賞与が3月、6月及び12月に支給されます。
- 休暇 年20日の年次有給休暇のほか、夏季、結婚、産前産後、育児、子育て、介護、病気などを事由とする休暇や、育児及び介護休業制度があります。
- 福利厚生 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入するほか、福利厚生制度が充実しており、長く安心して働くことができる環境が整っています。
  - ・定期健康診断、人間ドック、インフルエンザ予防接種の助成
  - ・新卒採用職員に対する支度金の支給制度
  - ・各種資格試験に要する費用負担制度、資格取得報奨金
  - ・結婚・出産・入学祝金等の支給
  - ・リフレッシュ活動助成金
  - ・職員親睦会 など
- 研修等 一般研修 新規採用職員研修（公益財団法人ふくしま自治研修センターの研修に参加）、階層別研修など  
 専門研修 外部研修、OJT（組織内研修）など

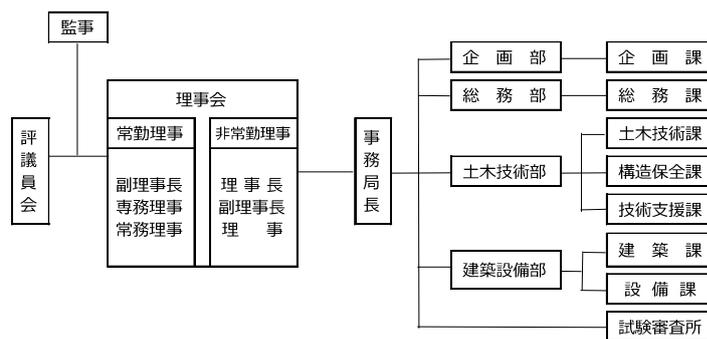
**本部** 〒960-8043 福島市中町7番17号（ふくしま中町会館）



**試験審査所** 〒963-8047 郡山市富田東二丁目245番地



一般財団法人ふくしま市町村支援機構組織図



## 問い合わせ先

一般財団法人ふくしま市町村支援機構 総務課

住所 〒960-8043 福島市中町7番17号

電話 024-522-5123 FAX 024-522-3631 E-mail info2@fctc.or.jp